

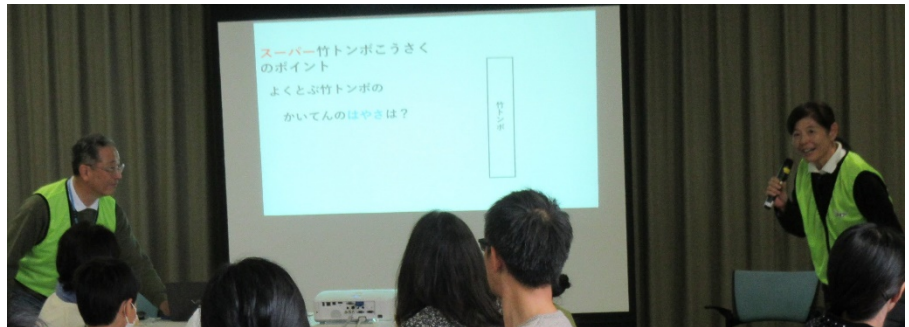
宇宙の学校ちば校 第三回スクーリング実施報告

12月9日（日）、千葉市稲毛区千葉経済大学附属高等学校にて、「スーパー竹トンボをつくろう！」を実施いたしました。児童34名に、保護者および同伴幼児も加えて約75名の参加となりました。それに加えて運営スタッフ12名が参加しました。今回は今月に入ってから寒暖差の激しい気候と前日からの急な冷え込みのせいか直前に風邪、発熱によるキャンセルが相次ぎ参加できなくなった児童が多くなってしまったのはとても残念でした。

工作の前はいつものように花嶋洋生さんから宇宙・天文関連のトピックスについてのお話しです。この秋、どんな宇宙・天文関連のイベントがあったか、わかりやすくお話いただきました。

今回の竹トンボ作りの講師は藤村玲子さんです。補助に三好肇さんについていただきました。竹トンボはどうやって飛ぶんだろう？

「スーパー」竹トンボにするためにどういう工夫をすればいいんだろう？ということのを低学年にも直感的に理解できるようにやさしく説明していただきました。



缶に巻きつけたサンドペーパーを使い、みんな頑張って竹羽根を削っていき、バランスをチェック、その後ヤカンから出る熱い蒸気で羽根を捻ります。



予定通り一時間ほどで工作を完了。藤村講師の指導の下、一人4～5回程度試験飛行させました。飛ばすたびに羽根を速く回転させるコツをつかみ、自分でもビックリするほどよく飛びます。もっともっと飛ばしてみたい気持ちを抑えつつ、何とか事故もなく無事にスクーリングを終えることができました。感想発表の時も、「最後によく飛んでよかった」という児童が一番多かったようです。



今回の竹トンボ作りの材料の仕込み、使いやすい工作道具類の準備を完璧にやって下さった近江敏治さん、そしていつも会場を提供して下さっている千葉経済大付属高校さん（当日青木先生には大変お世話になりました。）、本当にありがとうございました。